

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 ○○市（町，村）の昔の暮らし（8時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力，判断力，表現力等〕
<p>・人々の生活の様子は，時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解する。保護者や資料館の方などに聞き取り調査したり地図などの資料で調べたりして年表にまとめる。</p>	<p>・交通や土地利用，生活の道具などの時期による違いに着目して，市や人々の生活の様子を捉え，それらの変化を考え，表現する。</p>

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：市（町，村）の地形や土地利用，交通の広がり，公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などに着目して，身近な地域の様子を捉え地図にまとめた。

働かせる見方・考え方：時間の経過による違いに着目して，今の暮らしと昔の暮らしを比較すること。

段階	□学習問題（時間）	留意点
課題把握（つかむ）	<p>1 市に残る建物には，どんなものがあったかな。（1）</p>	<p>気付きや疑問から「問い」を設定する場面</p> <p>☞前の単元で作成した地図や市のパンフレット等の資料から気付いたことを出し合う場を設け，気付きを問いへとつなげ単元の学習問題を設定する。</p>
	<p>単元の学習問題：この地域に鉄道が走っていた頃から，人々のくらしはどのように変わってきたのかな</p>	
課題追究（調べる・考える）	<p>2 その頃のくらしの様子を予想して，調べたいことや確かめたいことをまとめよう。（1）</p>	<p>予想から解決の見通しをもつ場面</p> <p>☞予想を基に，視点や方法を明確にした追究の見通しをもてるようにし，子どもと学習計画を立てる。</p>
	<p>3 どのような道具を使いながら生活していたのかな。（2）</p>	<p>予想や仮説の検証に向けて調べる場面1</p> <p>☞歴史館や資料館などを見学し，当時使われていた道具を見たり，実際に動かしたりして，当時の生活を体験するとともに，当時の様子について聞き取りをする場を設ける。</p> <p>☞調べたことを時期や道具などのグループに分かれてまとめる活動も可能。</p>
	<p>4 鉄道ができた頃は，どのようなくらしをしていたのかな。（2）</p>	
	<p>5 鉄道が廃線になる頃は，どのようなくらしをしていたのかな。（1）</p>	<p>予想や仮説の検証に向けて調べる場面2</p> <p>☞養蚕のために使われていた道具や普通の生活で使われていた道具などが今と違って手動のものであることに着目させ，道具の移り変わりを年表などにまとめる場を設ける。</p>
課題解決（まとめる）	<p>6 鉄道が開通した頃から現在まで，人々のくらしはどのようにかわってきたのかな。（1）</p>	<p>学習を振り返る場面</p> <p>☞単元の学習問題に対する自分の答えをまとめる場を設ける。</p> <p>☞単元を通じた学習の振り返りを行い，長野県全体の様子へつなげる。</p>
<p>【ねらいを達成した子どもの姿】 鉄道が開通した頃は，洗濯板やかまどなど手作業で行う道具を使用し，当時は多くの家で蚕を飼っていた。鉄道が廃線になる頃には，道具が電気を使うものになり，とても便利になった。この頃には蚕は飼わなくなり，桑畑も減り，家や工場に変わった。つまり，時間が経つと，人々の生活が変わり，市の様子も変わってきたということだ。他の地域や長野県全体の様子についても調べてみたいな。</p>		

次単元へのつながり：長野県について調べ，県の様子を捉え，地理的環境の特色について考える。